

International Youth Day

1985年のこの日、世界の社会問題を解決するため、ユース（若者・青少年）の力をいかそうと呼びかける「国際ユース年」が始まりました。その後、1991年にウィーンで開催された第1回「国連システムにおける世界青少年フォーラム」に出席した青少年たちがこの日を「国際青少年デー」としようと提案し、1999年の国連総会で国際デーとして制定されました。



「世界は変えられる」
子どもがそう
信じられる社会に

現在では、各国の行政・おとなが子ども・ユースに関する社会問題により着目してもらうため、国連が毎年異なるテーマを掲げ、世界中で様々なイベントや会議が行われています。

世界人口の約 人に1人がユース（青少年・若者）

国連ではユースを「15～24歳」と定義しています。2020年時点の世界人口（約78億人）のうち、15～24歳の人は約12億人（15.5%）と推計されています。

ユース（青少年・若者）に関する社会問題とは？

この日に関連し、1995年に国連で採択された「青年に関する世界行動計画」では、世界の国々に、「教育」「雇用」「飢餓と貧困」「健康」「環境」「薬物乱用」「青少年の非行」「余暇の活動」「少女と若い女性」「社会生活ならびに意思決定における青少年の完全かつ効果的な参加」という全10分野の社会問題の改善・解決を優先して取り組むよう定めています。

- ・自分や身の周りでのどのような社会問題があるか
- ・それらをほんの少しでも改善、解決するためにどのようなことができるか

考えて書き出してみましょう。（共有する場合、それぞれが書いたことを否定・批判せず認め合うようにしましょう）

身の周りでおかしい、問題だと思うこと

それらをほんの少しでも改善、解決するためのアイデア（自分ができるか否かは考えなくてよい）

引用
国連広報センター「若者」

「世界の約19人に1人」

https://www.unicef.org/activities/economic_social_development/social_development/integration/youth/

国連教育科学文化機関（UNESCO）「By youth, with youth, for youth」 <https://en.unesco.org/youth>

UN Department of Economic and Social Affairs Population Dynamics <https://population.un.org/wpp/DataQuery/>

Together, We Can CHANGE the World
はじめてみよう！あなたにできること。

もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

- ・FTCJのホームページで児童労働について詳しく調べよう
- ・ストップ！児童労働キャンペーンに参加しよう！

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。アクションのヒントはコチラで検索！

FTCJ 活動ヒント